

## 令和元年度第1回 西脇市地域公共交通会議 議事録

【日 時】 令和元年6月12日（水）14:30～15:30

【場 所】 西脇市民会館 中ホール

【出席者】 委員：19名

オブザーバー：3名

事務局：3名

傍聴者：3名

### 【次 第】

開 会

1. あいさつ

2. 委員紹介

3. 議事

(1) 平成30年度決算について

(2) 西脇市における公共交通網の再編について

(3) 西脇市地域内フィーダー系統確保維持計画について

4. 報告事項

(1) コミュニティバスの利用状況について

5. その他

(1) 意見交換

(2) 次回日程等

閉 会

### 【会議の概要】

#### ○ 出席者数の確認

- ・委員 19名出席、西脇市地域公共交通会議規約第2条7項による定足数を満たしているためこの会議は成立

## 1. あいさつ

ご多忙の中お集まり頂き、お礼を申し上げます。昨年度、今後の公共交通網の再編に向け、地域公共交通網形成計画を策定した。本日の会議では、その中の重点事業の一つであるデマンド型交通の現在の検討状況等について、ご協議いただく予定である。本市の公共交通網の発展につながるよう、委員の皆様には是非忌憚のないご意見をいただきたい。

## 2. 委員紹介

(委員及びオブザーバーによる自己紹介)

(事務局職員の紹介)

## 3. 議事

### (1) 平成 30 年度決算について

(事務局より資料説明)

(平成 30 年度監査委員より監査報告)

- ・意見・質問なし
- ⇒承認

### (2) 西脇市における公共交通網の再編について

(事務局より資料説明)

#### 【委員】

- ・デマンド型交通の乗降場所について、自宅付近の指定場所となっているが、自宅からどれぐらいの場所を想定されているのか。
- ・また市外の方も利用できるがあるとあるが、市民へのサービスであるべきなので、その範囲を安易に広げるのは趣旨から外れるのではないか。

#### 【事務局】

- ・デマンド型交通の乗降場所である自宅付近の指定場所は、ごみステーションが一つの例である。ほとんどがごみを歩いて出しに行ける場所にあると想定される。ただ、人によってはごみステーションが自宅から遠い人もいると思うので、個々の実情に応じて設定できるように考えていきたい。
- ・市外の方の利用については、可能としているが、観光利用の方が事前登録をしてまで利用するケースは少ないのではないかと想定している。それよりも、市外に出た大学生が帰省したときなど、市に縁のある人が使えるようにしたいという思いで、このような取扱いとしている。

#### 【委員】

- ・資料に記載の料金は、1 回の利用に対するものか。
- ・近隣市の利用料金が 300 円なので、高齢者、一般に関わらず一律 300 円に近い料金で利

用できるように検討してもらえないか。免許の返納の問題もある。

**【事務局】**

- ・料金は、1乗車当たりの料金である。案1で言うと通常400円の方が往復で使うと800円、高齢者等半額の方が往復で使うと400円となる。
- ・一律300円という料金の設定も考えられる。
- ・仮に通常400円、高齢者等は半額で200円にした場合、高齢者ではないが、通勤や通学などに日常的に使いたいという場合もあるので、例えば割引のついた回数券を導入するなど、利用頻度の高い人には、200～300円に近い料金で乗車してもらえる仕組みにできないかと考えている。

**【会長】**

- ・高齢者等の範囲はどこまでか。

**【事務局】**

- ・高齢者等には、子どもも含まれている。高校生を含めるかどうかは検討中である。黒田庄地区の高校生につくしバスの料金が高いために通学に使えないと聞いたことがある。使ってもらえる金額に設定したいと思うが、回数券対応にするのか、そもそも高齢者等の割引対象に含めるのかについては、もう少し研究が必要である。一般的には、高校生は高齢者等の割引対象には入らない。

**【委員】**

- ・先程説明があったが、高校生への配慮をお願いしたい。
- ・予約センターの受付時間について、運行時間と連動させるとあるが、朝の早い便の予約はどうなるのか。
- ・利用対象者の条件があると以前聞いたことがあるが、そのあたりをもう少し詳しく説明してほしい。

**【事務局】**

- ・高校生について、仮に1乗車200円に設定すると往復400円となるが、仮にその金額としても実際に乗っていただけるのかという心配はある。通学に使えるよう朝7時から乗れるようにしたとしても実際に乗ってもらえないと意味がない。
- ・朝の便の予約は、前日までになる。予約センターを朝一から開けるのはキャンセルに対応するためである。
- ・利用条件については、バスとの役割分担があるので、バス停から300m圏内に居住の方で、バスによって同じ目的地に行けるといふ方は遠慮していただくという運用になると思う。

**【委員】**

- ・バス停から300mとなると比延地区は多くの住民は使えない。塚口町、堀町、高嶋町だけしか利用できない。何等かの工夫をお願いしたい。

**【事務局】**

- ・バス事業者と調整する必要があるが、できるだけ利用していただきたいと思っている。

**【委員】**

- ・運行車両で、座席を外してシルバーカーやベビーカーをそのまま載せられるようにしたいと説明があったが、これは人が乗ったままということか。

**【事務局】**

- ・人ではなく荷物を載せたまま、折りたたまずに載せるという意味である。

**【委員】**

- ・いずれにしても座席を外してということになれば、車の構造変更の検査が必要となるので、また検査部門に相談してほしい。

**【事務局】**

- ・他市で自転車をそのまま載せてベルトで固定するとい事例が優良事例として取り上げられていたため、シルバーカーも同じように載せられないかという発想である。また相談する。

**【会長】**

- ・他に意見・質問はないようなので、現時点の案ということで承認をいただいてもよいか。  
⇒承認

**【会長】**

- ・再編案については、今後も調整・検討を進め、改めて協議をいただく。

(3) 西脇市地域内フィーダー系統確保維持計画について

(事務局から資料説明)

- ・意見・質問なし

⇒承認

**【会長】**

- ・事務局については、国への申請手続きをお願いします。なお、委員においては、国との調整における軽微な変更については、事務局に一任いただくようお願いします。

#### 4. 報告事項

(1) コミュニティバスの利用状況について

(事務局より資料説明)

- ・意見・質問なし

#### 5. その他

(1) 意見交換

- ・意見なし

(2) 次回日程等

**【事務局】**

- ・次回の会議は、秋頃に開催させていただきたいと考えている。